



北陸テクノ株式会社

各工場に最適な高性能工業炉を設計から製作、据付、メンテナンスまで一貫対応。確かな技術が評価され、海外の日系自動車メーカーでの導入が進む。2008年から東南アジアに進出し、2019年からメキシコ自動車産業に参入

展開国・地域 2008年 ベトナム 2014年 インドネシア
2012年 タイ 2019年 メキシコ

企業情報 所在地: 富山県射水市 従業員数: 19名
設立: 1993年1月 URL: <http://www.h-techno.com/>

事業内容 工業炉の設計・製作・据付・メンテナンス / 鋳造付帯設備の設計・施工 / 建築および鋳造材料販売・施工



- 1 工業炉(メキシコ)
- 2 HORMESA社との契約
- 3 現地調査の様子



時代の流れを受けて始めた海外展開

弊社としては、2004年ごろから海外輸出に取り組んできました。輸出をする中で、現地通貨による決済のニーズが高いことを感じ、営業機能を備えた現地法人を持つことを考えてはいたのですが、なかなか着手できずにいました。そんな中、2009年にリーマンショックが起き、国内の売上げが右肩下がりになったことをきっかけに現地法人の設立を進めることにしました。まずは、日系自動車メーカーが数多く進出しているベトナム、タイ、インドネシアに法人を構えました。工業炉メーカーの中では、海外進出は早い方だったと思います。競合する他社があまりいなかったこともあり、成果はすぐに出ました。ただ、しばらくすると同業他社も進出し、価格競争が起きました。そのこともあって、次の開拓地として、日系自動車メーカーの集積地となっているメキシコに着目し、メキシコへの進出を検討し始めました。

専門家のサポートで現地企業とパートナー契約を締結

メキシコに進出するといっても、初めての試みでどうしていいかわからずにところ、ジェットロから専門家支援を紹介してもらいました。派遣された「新輸出大国コンソーシアム」の専門家は、現地事情にも自動車業界にも詳しく、手厚いサポートをしてもらいました。他にも中小機構や富山県新世紀産業機構、JICA、AOTSにも支援してもらい、まず2016年にスペインHORMESA社とメキシコでの事業に関する業務提携を含むパートナー契約を結びました。さらに、2019年に現地でネットワークを持っている日本人を現地採用し、メキシコのHORMESA社の中に駐在員事務所を構えることができました。駐在員には、顧客サポートやメンテナンスの手配など多岐にわたる業務を担っていただいておりますが、大きな受注をもらうなどしており、順調に仕事が進んでいます。困ったことがあればすぐ専門家に相談できることが、とても心強かったです。

求められている場所へ工業炉を届ける

メキシコで生産された自動車の7~8割はアメリカに輸出されているので、トランプ政権による影響や懸念は少なからずありますし、今後の動向も気になることです。とはいえ、撤退や他国へ新しい拠点を設立するというわけにはいきません。仮に、新規進出を考えるなら、お客様の動向次第ですね。シンプルに、お客様がいるところに行く。お客様に弊社の工業炉を届け、きちんとメンテナンスをすること。それが、自分たちのやるべきことだと考えています。また、世界中で環境問題が叫ばれ、企業にも対策が求められている中、弊社の強みは環境負荷の低減を図った省エネでかつコンパクトな工業炉であることです。実際に、メキシコには進出して間もないですが、すでにリピートオーダーしてくださっているお客様もいます。今後も、お客様に寄り添い、お客様に満足してもらうための技術・サービスを提供していきます。



代表取締役社長

木倉 正明 氏

海外に進出していかなかったら
ここまで成長できませんでした

ジェットロ富山からの
ポイント



時代の情勢に負けることなく、海外に挑んでいく姿勢が印象的な企業です。分からないことが多いと言いつつも、専門家の意見を取り入れながら、英語が得意な人材を生かし、業務提携の契約締結・駐在員事務所の設置に至りました。現地の習慣や性格を加味した上で、パートナー企業とのビジネスを進めており、お客様からも高い信頼を得ています。